

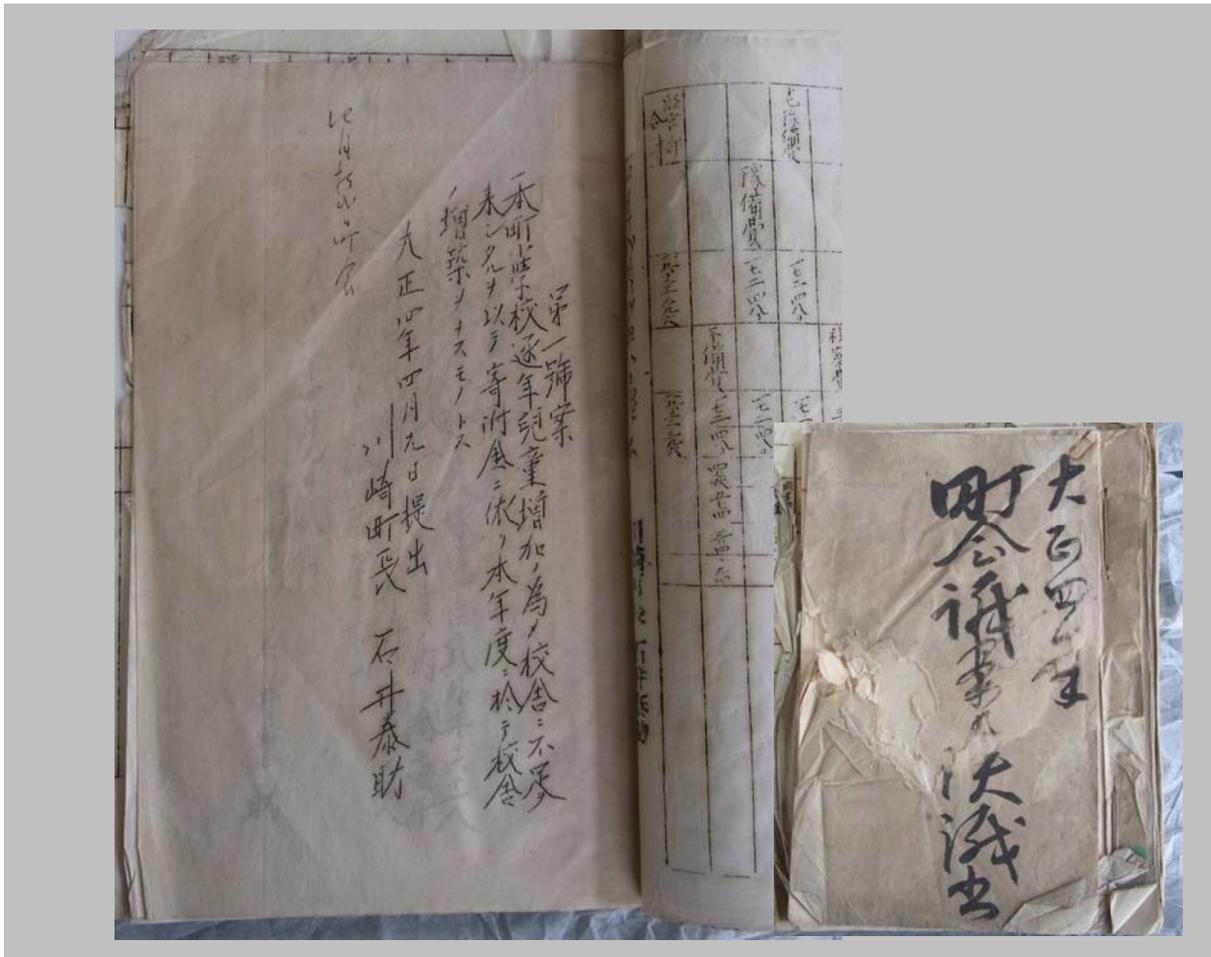
川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

第25号 平成25年2月



当館の歴史的公文書には、「官設鉄道貨物線（現 東海道線）敷設変更案」や「大正4年度の川崎町歳入出追加予算」、「尋常高等川崎小学校の増築」に関するものがあります。

とりわけ、尋常高等川崎小学校（現 川崎小学校）は、明治6年（1873）川崎学舎として砂子町宗三寺内に創立されてから大正10年（1921）の宮前小学校創立まで、約50年にわたって旧川崎町（新宿・砂子・小土呂・久根崎）全ての通学区となっていました。

当時の市域は、明治末期から川崎町を中心とした工業化の促進により人口が増加し、大正初期になると途中入学の生徒が急増したといい、文書中にも増築の理由に「逐年児童増加ノ為メ」とあります。当文書にみられる川崎小学校の増築から、工業化が与えた学校への影響という当時の川崎の状況も読み取ることができます。

出典

（『川崎教育史』上下巻、『続川崎教育史』学校沿革編、『創立八十周年記念誌 川崎市立川崎小学校』）

発行 川崎市公文書館

歴史講演会のご案内

年に一度の、公文書館歴史講演会が平成25年3月10日14時から、JR南武線武蔵中原駅前の『エポックなかはら』で開催されます。

講師は村上直法政大学名誉教授にお願いしました。

先生は、川崎市史の編さん委員長を務め、川崎に関する著書を多数執筆した歴史研究の第一人者です。

テーマは「江戸幕府の民政を支えた田中休愚 ー川崎の地域社会から歴史をみるー」です。



村上直講師（24年度歴史講座より）

享保改革のさなか60歳の時、勤勞辛苦する農民生活の実態を「民間書要」に著し、江戸幕府に大きな影響を与えた田中休愚。その人生とおした活躍ぶり、川崎地域が江戸幕府にいかにか影響を与えたかについて、わかりやすく解説します。

講師 村上直先生
プロフィール 法政大学名誉教授、文学博士。日本近世史専攻。川崎やその周辺の歴史に詳しく、「わが町の歴史川崎」、「江戸幕府の代官群像」、「江戸近郊農村と地方巧者」など著書多数。

平成25年 **3月10日(日)**
午後2時開演(4時終了予定)
エポックなかはら7階大会議室
(JR南武線 武蔵中原駅 直結)

申込み:1月21日(月)~2月17日(日)
受講料:500円(資料代込み)
定員:100名(定員を越えた場合は抽選)
申込方法:往復はがきに「住所・氏名・電話番号」を明記し下記あて送付(1人1枚)。当日消印有効。電子メールでの返信を希望の場合は普通はがき可。
※直接窓口でも申込可能。返信用はがき又ははがき代50円持参のこと。

申込み・問合せ
〒211-0051 川崎市中區区宮内4-1-1
川崎市公文書館 歴史講演会係
電話 044(733)3933・FAX 044(733)2400
開館時間 8:30~17:00・休館日 月曜日及び祝日
(休日が月曜日に当たる場合は火曜日も休館)

江戸幕府の民政を支えた
田中休愚

川崎の地域社会から歴史をみる

川崎市公文書館 歴史講演会

講師：村上直氏（法政大学名誉教授）

日時：3月10日（日曜日）14時から

場所：川崎市総合福祉センター

（エポックなかはら）7階大会議室

JR南武線 武蔵中原駅徒歩1分

受講料：500円

募集時期：平成25年1月21日から

2月17日（消印有効）まで

募集人数：100名（定員を越えた場合は抽選）

■申込み方法

往復はがきに「住所・氏名・ふりがな・電話番号」を明記し下記あて送付（1人1枚）。

電子メールでの返信を希望の場合は普通はがき可。

直接窓口でも申込可能。返信用はがき

又は、はがき代50円持参のこと。

※メールでの受付はできませんのでご了承ください。

■申込み・問合せ

〒211-0051 川崎市中區区宮内4-1-1

川崎市公文書館 歴史講演会係

電話044(733)3933 Fax044(733)2400

講座テキスト販売のお知らせ

24年度講座のテキストを公文書館にて頒布いたします。

入門テーマ 「初めて古文書を読む方向け」

初級テーマ 「近世川崎の村々と多摩川」

中級テーマ 「幕末の大通行と川崎の村々」

各500円

※中級は講座終了後の平成25年2月13日からの販売となります。



聞いて損はない！？古文書の呟き③

お久しぶりです。古文書でございます。
立春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続いております。

さて、春といえば健康診断ですが、私達古文書や公文書にもこれと近いもの、「保存状態調査」があります。

～保存状態調査とは～

私達は大半が紙媒体であるため、年を経るにつれ劣化による破損や湿気によるカビ、インクや紙の酸化といった状態悪化は避けられません。例えば書斎の本の変色も劣化の一つです。他にも洋紙に含まれるインク滲み防止の薬剤が、紙質の劣化を進行させます。

史料の保存状態を調査し現状把握をすることは、保存環境の改善や閲覧等の取扱いの注意点を明らかにし、長期的な修復保存計画へ繋げていくために必要なものです。

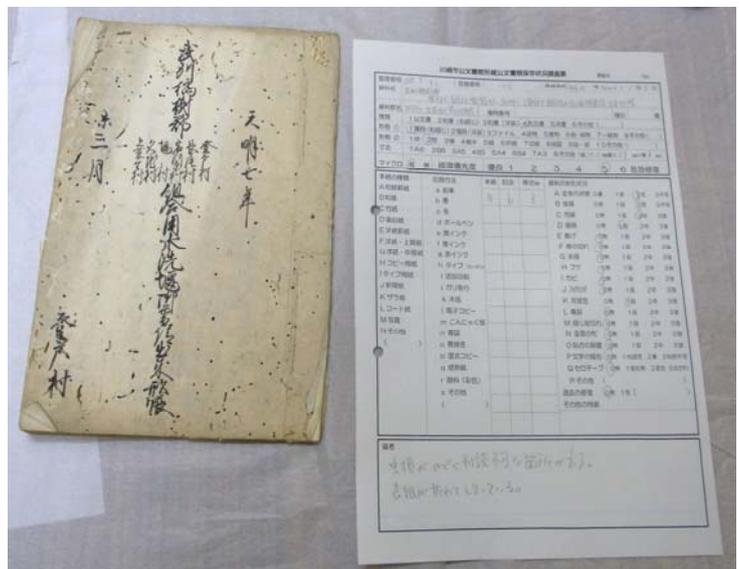
～公文書館における保存状態調査～

史料の一点一点を見て、文書の形式をはじめ、寸法や紙の種類、文字の記載方法（インクや墨など）、劣化損傷の特徴を、図も含め詳細に記録します。特に史料の劣化状況に関しては虫損や破損、カビや茶変色といった代表的な劣化状況を4段階で評価していきます。

そこから現段階で必要な保存処置を考え、最終的に修復優先度を6段階で決定し、劣化が進んだものから修復を行っていきます。



↑ 虫損により解読不能となった古文書



↑ 保存状態調査中、詳しく記録しています

いかがだったでしょうか？これであなたも古文書通！

公文書館の散歩道

～このコーナーでは、公文書館のまわりの風景をお届けします～



公文書館に向かう二ヶ領用水沿いの小道は、近隣の方々に散歩道として親しまれています。四季折々の自然に富、様々な草花や野鳥などが見られますが、ここのアイドルは、用水で生まれ育った「かるがも」たちでしょう。

子育てに適しているのか、ここ数年、子連れのかるがもの姿が見受けられ、道行く人たちが、その愛らしい姿に目を細めています。

このかるがもと人気を二分しているのが、この地を根城にしている老若男女の「猫」たちです。近くの支援者たちからエサをもらい、日光浴、昼寝を楽しんで、ゆったりとした暮らしぶりです。

「吾輩は猫である」と主張して歩く姿は、風格さえ漂わせています。あわただしい世の中ですが、散歩道には『ちょっとほっとする時間』が流れています。

陽だまりに猫が重なる散歩道（おさんぽびと）

◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

◇休館日

毎週月曜日

祝日法に定める休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日も休館です。）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

◇利用方法

市政資料室の資料は自由にご覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し事務室にお申し出ください。

ただし、資料の外部への持ち出しはできません。資料等の複写サービス（実費）は、館内のコピー機をご利用いただけます。

公文書の閲覧については、情報公開制度により行います。

◇交通のご案内

【バスの場合】

- JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」・市バス、東急バスともに「小杉駅前」から「市営等々カグラランド入口」下車すぐ
- JR横須賀線「武蔵小杉駅」新南改札・東急バス「横須賀線小杉駅」から「市営等々カグラランド入口」下車すぐ
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」駅前（北口）
・市バス「溝の口駅前」及び東急バス「溝の口駅」から「市営等々カグラランド入口」下車すぐ

【徒歩の場合】

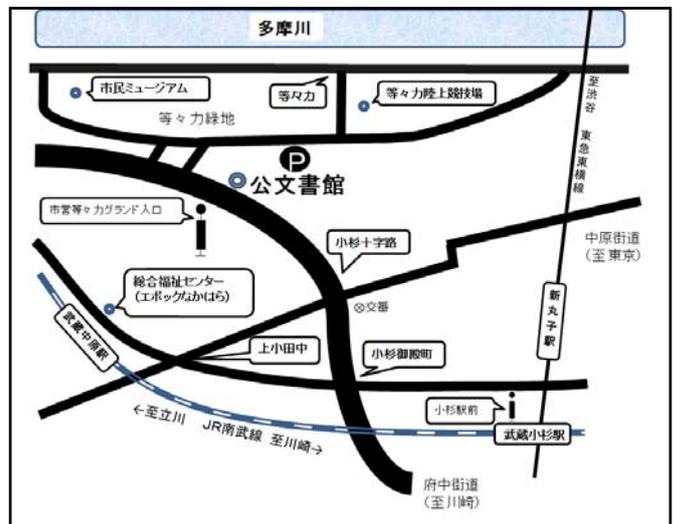
- JR南武線「武蔵中原駅」から約15分
・「武蔵小杉駅」から約20分
- 東急東横線「新丸子駅」から約15分

川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933 FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/16/16koubun>



公文書館を見にきてください。

